

年 組 名前：

問1 信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとした際、

一時停止した車の割合を調査したところ、

山梨県内は今年A%で、全国B位でした。

3年前の調査に比べ順位はC位上がりましたか。

A~Cに入る数字を書いてください。

A 「 %」 B 「 位」

C 「 位」

問2 山梨県内の停止率は年々アップしていますが、

その理由は何だと考えられていますか。

.....

.....

.....

.....

問3 信号機のない横断歩道の渡り方で、

誤っているものにすべて×を付けてください。

「 」 車が途切れた時に無理をして横断する

「 」 車が止まってくれるだろうと思い込み渡り始める (2021年10月19日付 山梨日日新聞 28面)

「 」 横断歩道の真ん中で立ち止まりカバンの中を確認する

「 」 右と左に十分注意し、車が止まったのを確認して渡る

「 」 運転手に大きな声で「止まれ」と叫びながら横断する

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.

2台に1台停車せず 信号のない横断歩道県内調査

信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとした際、一時停止をした車の割合が山梨県内は51.9%で、全国で3番目に高かったことが18日、日本自動車連盟(JAF)の調査で分かった。昨年(35.8%)より16.1%改善したが、JAF山梨支部は「いまだ半数近くが一時停止していない。横断歩道では歩行者優先を徹底してほしい」と呼び掛けている。

調査は8月11~30日の平日(午前10時~午後4時)に各都道府県2カ所実施。センターラインのある片側1車線の道路の横断歩道で、JAF職員が1カ所につき50回渡ろうとした際に、一時停止した車の台数を計測した。全国平均は30.6%だった。

都道府県別では、長野が85.2%、静岡が63.8%で山梨より高く、宮城51.4%、石川50.7%と続いた。最も低かったのは岡山の10.3%だった。



調査は2016年から実施し、18年からは都道府県ごとの割合を公表。山梨は18年が5.6%で全国30位だった。19年は26.0%で11位、20年は35.8%で6位と改善した。今年も割合、順位とも最も高くなった。

JAF山梨支部の担当者は「県警が取り締まりを強化したほか、自治体が啓発活動をしたことでドライバーの意識が向上したと考えられる」と分析。一方で「本来は100%であるべき数字。横断歩道を渡ろうとする歩行者がいたら直前で停止することを徹底してほしい」と話している。

〈宮川祐介〉